

平成30年度の主な事業

(単位：千円)

■総務費	654,942
広域行政の推進事業	28,178
ふるさと納税推進事業	41,580
村営バス運行事業	53,969
ふるさと人材育成研修事業	1,200
地域おこし協力隊事業	2,351
結婚相談事業	1,200

■民生費	615,220
障害福祉事業	126,103
老人福祉事業	88,977
児童手当	47,760
要介護者巡回事業	1,544

■農林水産業費	296,465
元気な農業経営による所得1.3倍プロジェクト事業	9,233
農業次世代人材投資事業	12,750
山間地域等農業機械導入支援事業	6,000
多面的機能支払交付金事業	24,267
中山間地域等直接支払交付金事業	45,578

■衛生費	275,672
へき地診療所運営費繰入金	62,300
広域行政の推進事業(環境衛生)	45,601
ゴミ収集事業	16,705

■土木費	594,674
村道除排雪対策事業	111,000
道路維持事業	131,715
除雪車購入事業	36,926
村道合海大坪線道路改良事業	61,000
銅山橋橋梁長寿命化対策事業	50,000
住宅リフォーム総合支援事業	7,500

■商工費	113,646
地域活性化促進事業	33,882
観光プロデューサー育成事業	3,591
プレミアム商品券発行事業	4,300
小規模事業者持続化事業	2,400

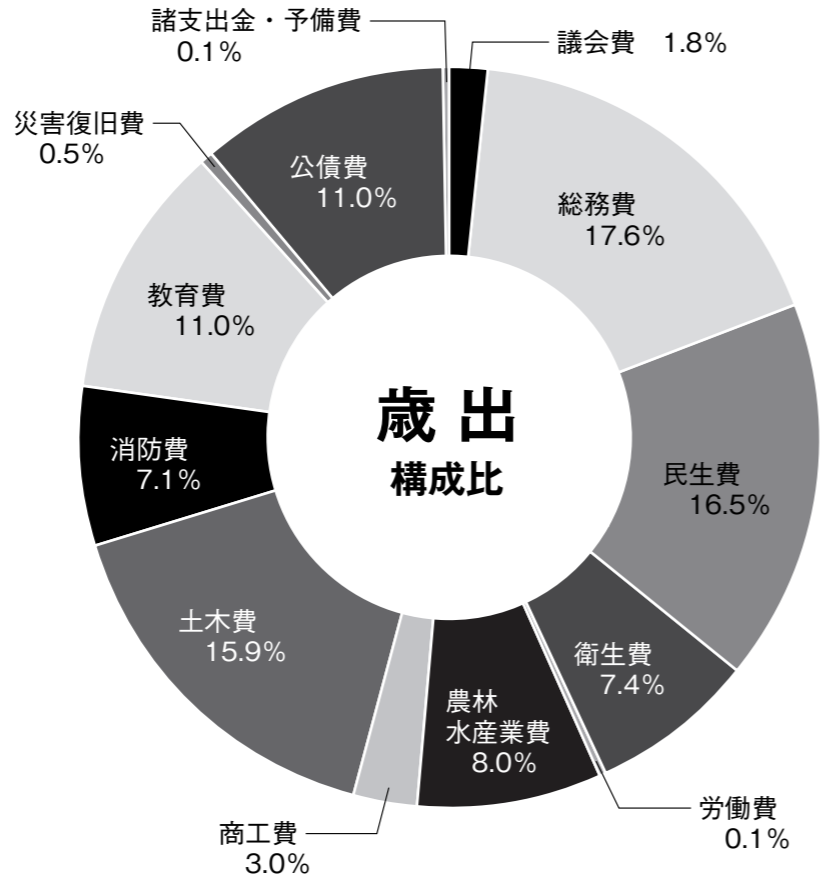
■教育費	410,681
小・中学校管理運営事業	73,131
スクールバス運行管理事業	42,426
肘折生涯学習センター校舎棟解体事業	91,500
おおくら未来塾事業	4,000

■消防費	265,718
広域行政の推進事業(常備消防)	64,186
肘折地区防災拠点施設整備事業	150,000
消防ポンプ積載車購入事業	12,960
消防施設整備事業	7,860

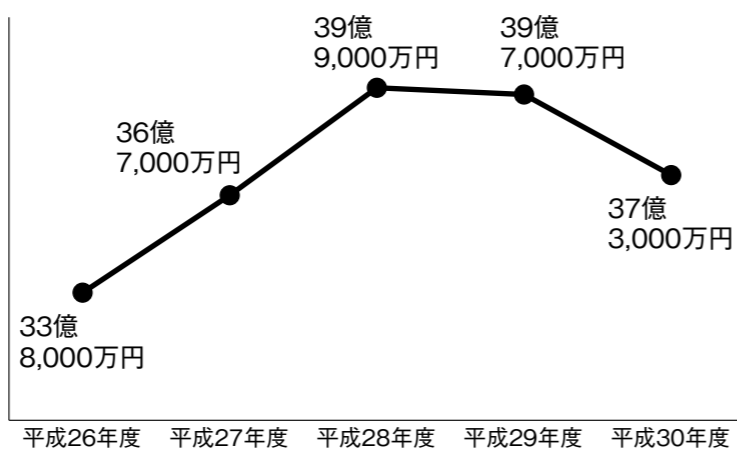
■災害復旧費	16,828
豪雨や豪雪等による道路・農地等の災害復旧事業	16,828

語句の説明

- * 一般会計：村の運営の基本的な経費を計上する会計
- * 特別会計：特定の事業を行う場合に一般会計と区別して経理する会計
- * 村税：村民税・固定資産税・軽自動車税・村たばこ税・入湯税による税収入
- * 地方交付税：地方公共団体が等しくサービスを提供することができるよう一定の基準により国から配分されるお金
- * 村債：村が行う公共事業などの財源として、国などから借りるお金
- * 国庫支出金：村が実施する特定の事業に対し、国から交付されるお金
- * 地方譲与税：国税として徴収された後、村に譲与されるお金



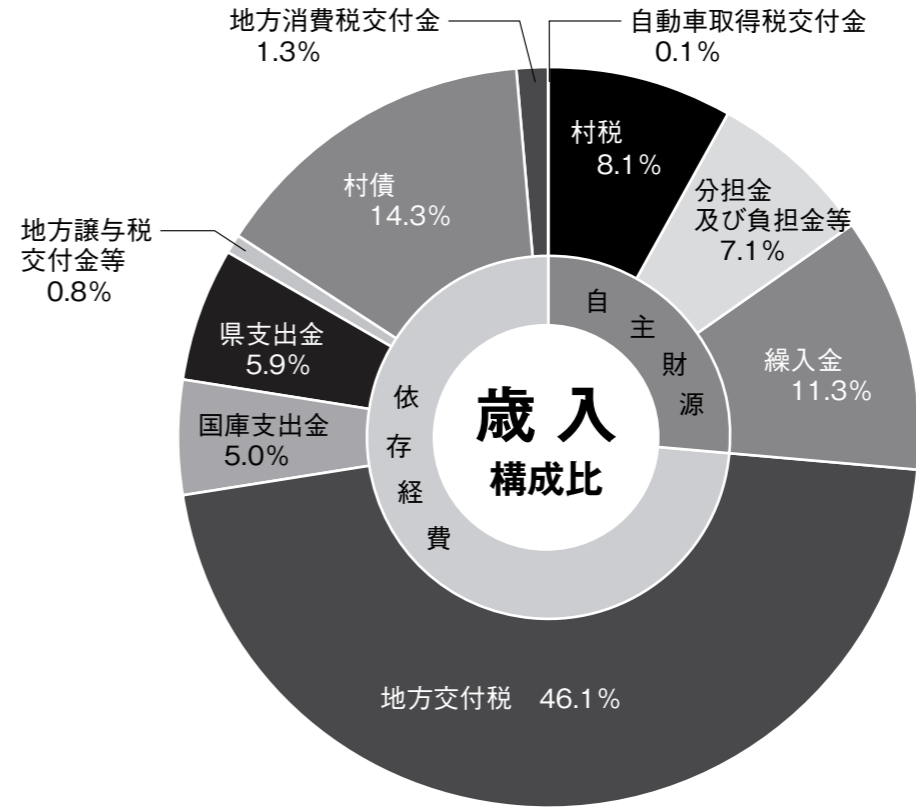
● 一般会計の当初予算額の推移



平成30年度一般会計の当初予算総額は37億3千万円で、前年度当初予算に比べ2億4千万円、率にして6.0%の減少となっています。

一般会計予算の歳入では、地方交付税や国、県支出金の割合が非常に大きくなっており、国の地方財政政策の動向次第で村の財政運営が大きく左右されてしまう可能性があります。課税客体の極めて少ない本村では、村税などの自主財源確保に努めています。

今後とも「最小の経費で最大の効果を挙げる」という地方自治の本旨にのっとり健全な行政運営に努め、小さい村だからこそ出来る協働の村づくりを進めていきます。



平成30年度一般会計予算総額は
37億3千万円
(前年度比2億4千万円の減)

● 平成30年度特別会計予算額

会計名	本年度	前年度	増減率(%)
国民健康保険特別会計	4億6,350万円	5億4,200万円	△ 14.5
簡易水道事業特別会計	2億100万円	2億9,730万円	△ 32.4
特定環境保全公共下水道事業特別会計	1億7,720万円	1億7,640万円	0.5
へき地診療所特別会計	2億2,710万円	2億3,870万円	△ 4.9
介護保険特別会計	4億3,570万円	3億9,680万円	9.8
浄化槽整備事業特別会計	2,620万円	2,970万円	△ 11.8
後期高齢者医療特別会計	3,640万円	3,550万円	2.5
団地造成事業特別会計	6,880万円	3,460万円	98.8

平成30年度
むらの予算